

## 洋野町との交流促進

# 「浦幌町友好市町村交流事業補助金制度」を創設

### ○浦幌町友好市町村交流事業補助金制度

本町は、縁あって岩手県洋野町と平成26年7月12日に「友好の町絆協定」を締結し、スポーツ交流や物産交流などによる親睦を深めています。この交流を一層盛んにしていくため、多くの方々に洋野町を訪れていただけるよう、各種団体で行う洋野町との交流事業に要する経費に対して補助金を交付する「浦幌町友好市町村交流事業補助金制度」を創設しました。

### ○補助対象者

補助金の交付対象者は、5人以上で洋野町において交流事業を実施する浦幌町内の各種団体とし、補助金の基礎となる者は、各種団体を構成する者のうち現に浦幌町に住所を有する者とします。なお、市町村税等の滞納がある者は除かれます。

### ○補助額

補助金の額は、補助対象経費総額の2/3以内とし、一人当たり7万5千円を限度とします。

\*申請方法等、詳しくは、まちづくり政策課企画振興係にお問い合わせください。

(TEL 015-576-2112)

## 浦幌町と友好の町絆協定締結 (岩手県) 洋野町だより



生ウニを買い求める来場者

### たねいちウニまつり

洋野町の夏の主要イベントのひとつである「たねいちウニまつり」(ひろのイベント事業実行委員会主催)は、ウニが一番旬な時期となる7月中旬に種市海浜公園を会場に開催され、毎年多くの来場者でにぎわいます。

イベントでは、瓶詰めされた生ウニや殻付きのウニが割安で販売されるほか、焼きウニ、天然ホヤなどの海産物やウニとアワビのお吸い物「いちご煮」なども提供されます。

ウニの殻割り体験や生ウニ井づくり体験など種市のウニを堪能できる催しのほか、町推奨イメージソング「おいでよ!ひろの」を制作したアマチュア歌手の三本木智子さんと八戸市出身の小西礼子さんのライブコンサートや郷土芸能アトラクション、ラジオの公開生放送、種市高校による南部もぐりの実演なども行われます。

ことしは7月19日(日)に開催されますので、ぜひお越しください。

## コラム ひとつのこと

### 缶詰(じかんず)のこと

ある朝のこと。「火を使わずにできるおかず」とテレビ。目を上げると、サバ缶とスライス玉葱をビニール袋に入れて、こにゃこにゃ揉(も)んで出来上がり。災害時に電気やガスがないとき便利なおかずなのです。サバ缶やサンマ缶はうちにもある、と翌日やってみたらまあまあ美味しいが、玉葱を水にさらしたので水っぽい。玉葱はそのままがいいと納得して五十日もたつと、三度もビニール袋をこにゃこにゃしていた。ほんとの料理ではないが火を使わず簡単にできるおかずは、ひとり暮らしの婆さん食の手段として、こんないいものはない。煮る、焼く、茹(ゆ)でるの基本的なことだけの私に、料理の本など一冊もない。

乾燥、塩蔵、燻製(くんせい)だけだった日本の保存方法に、無期限に貯蔵できる缶詰が加わったのは明治二十年代。フランス人に伝授され長崎に工場ができたが、一般が口にできるものではない。身近に安価な缶詰がある現在を幸福と思わねば…。

(高橋悦子)